

2024年
超決定版

歯科医院

変化し続ける歯科業界でこれから何をするべきか？

診療報酬改定 セミナー

オンライン版



か強診の廃止
歯診療の大幅改定

賃金ベースから
アップの管FMCが
除外
施設基準

糖尿病患者の増点
小児・高齢者の
口腔機能
管理料の変更
歯周治療

医歯薬連携の
外来環の強
廃止
根管
新設

CAD/CAM冠の適応拡大
Ceの
廃止

光学スキャナーの算定新設

診療報酬改定を
見据えて



地域の患者様から
選ばれ続ける
歯科医院になる
ためにやるべき

6 取り組み
の事例紹介

とっておきの

開催日時
2024年 6月16日(日)・6月19日(水)
6月20日(木)・6月23日(日)
オンライン開催 各日 14:30~17:30

お申し込みはこちら

主催

この荒波乗るか降るか！大航海時代の歯科診療報酬改定2024



サステナブルグロースカンパニーをもっと。
Funai Soken

株式会社船井総合研究所
〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10
船井総研大阪本社ビル

お問い合わせNo. : S113189

Message

皆様、いつも大変お世話になっております。株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 マネージング・ディレクターの谷口 竜都です。この度は、私たちのレポートをお読みいただき、心より感謝申し上げます。

2010年代以降、歯科業界は競争が一層激しくなり、2020年代には「拡大しなければ生き残れない」という状況になりました。歯科診療所の数は減少する一方で、医療法人は増加し、業界は明確に二極化しています。それでも歯科診療所の平均年商は約4,000万円から約7,000万円に上昇し、中規模から中堅以上の力を持つ歯科医院が増え、集患のための競争がますます激しくなっています。日本の人口減少に伴い、有効求人倍率は増加し続け、新卒の歯科衛生士に対する求人倍率は22.6倍にも達しています。歯科医師の数は増加しているものの、高齢化が急速に進んでおり、歯科助手はより働きやすい一般企業へと移行し、採用競争はさらに激化しています。結果として、新卒や中途採用の給与が高騰しています。

さらに、材料費、技工費、外注費、水道光熱費、採用費、人件費が1.2～1.5倍に高騰し、利益に圧力をかけています。従来のビジネスモデルでは、利益が減少する傾向にあります。

拡大しない場合、雇用条件の改善、優秀な人材の採用、利益の増加、新規事業や広告、人材への投資が困難になり、結果として患者様もスタッフも減少し、事業は縮小してしまいます。

このように、「拡大しなければ生き残れない」という現実があります。では、どうすれば拡大を達成できるのでしょうか？ 答えは、「診療報酬制度を迅速に理解し最適化し、保険売上をアップさせる」と同時に「自費売上をアップさせる」ことで、「生産性を向上させる」ことにあります。

令和6年度は、診療報酬改定が行われます。この改定は、「荒波」と表現しても過言ではないほどの大規模なものです。診療報酬改定を的確に理解し、速やかに対策を講じることで、この荒波を乗り越えることが可能です。本セミナーは、そのためのきっかけを提供します。

是非、引き続きご覧ください。

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部
マネージング・ディレクター

谷口 竜都





今回の診療報酬改定は

セミナーで学べるポイント

管理予防型
歯科医院の推進

から

口腔機能管理・
連携型歯科医院

への転換点!!

これからの時代は従来の枠を超えて、**3つの体制**を持った歯科医院をつくることで
少子高齢化社会を歯科医療を通じて解決させるという、熱いメッセージが!

「噛める、食べる、話す」といった、
本来の口腔機能の目的と共に、
全身まで包括的に網羅した
歯科医療体制

小児の発育不全を
口腔機能から向上させる
歯科医療体制

高齢者の健康寿命延伸のため、
経口摂取だけでなく、
全身疾患のドミノを川上から止める
歯科医療体制

求められる歯科医院像になるための**6つ**のポイント

歯科業界の専門コンサルタント
たちが

上記では収まらないほどの

超最新

取り組み事例

& ノウハウを

一挙大公開



お申し込みは
コチラ



1

2024年診療報酬改定で 新設・変更された施設基準の取得



知れること

- か強診から口管強への施設基準の変更に適応した必要な取り組み
- 新設・変更された施設基準の内、取っておくべき施設基準
- 施設基準を取得してからの活用方法
- 口腔機能の算定に必要なツール

改正で新設・変更された施設基準一覧

- 医療DX推進体制整備加算
- 歯科外来診療医療安全対策加算1
- 歯科外来診療感染対策加算1・2
- 口腔機能管理体制強化加算(口管強)
- 歯科外来・在宅ベースアップ評価料I
- 歯科外来・在宅ベースアップ評価料II
- 歯科技工士連携加算1
及び光学印象歯科技工士連携加算
- 歯科技工士連携加算2
- 光学印象
- 時間外対応加算2



2

小児&高齢者口腔機能管理および 口腔リハビリテーション料3の 算定&指導ノウハウ



知れること

- 対象患者様のピックアップ方法と検査、指導のための声掛けアプローチ方法
- DHと助手、誰が検査、指導を行うのか
- 検査と指導の理想的な時間配分について
- 準備しておくべき道具と必要な資料の紹介
- 口腔機能の具体的なトレーニング内容
- 口腔機能管理で使えるツール

変更・新設となった項目

- 口腔機能管理料
- 歯科リハビリテーション料3の新設
- 小児舌圧検査の新設
- 咬合圧検査の期間
- 咀嚼能力検査
- 歯科衛生実地指導料
口腔機能指導加算



3

最新！う蝕・歯周病・口腔機能の 予防・メンテナンス管理体制



知れること

- 小児、20～60代、60歳以上の高齢者の年齢別の算定の組み合わせパターンと理想的なケアタイム
- SPTを組み合わせるべき処置と算定項目
- 国が求めている歯科医院の新たな予防体制
- メンテナンス強化に活用できるツール

変更・新設となった項目

う蝕関連

- 根面う蝕管理料
- エナメル質初期う蝕管理料
- 機械的歯面清掃の期間改定
- フッ化物歯面塗布処置料
- 根面う蝕・エナメル質初期う蝕

歯周病関連

- SPTのハイリスク患者加算
- P重防算定期間短縮

口腔機能管理関連

- 歯科衛生実地指導料
口腔機能指導加算
- 口腔機能管理料
- 歯科リハビリテーション料3の新設
- 小児舌圧検査の新設
- 咬合圧検査の期間短縮
- 咀嚼能力検査の期間短縮



4

医歯薬連携の具体的な方法



知れること

- 糖尿病患者様が初診で来院したときの問診や初診カウンセリングの方法
- 医科や調剤と連携するための資料のフォーマットややるべきこと
- 皮膚科との連携した金属アレルギーでの補綴交換提案と仕組み
- 医歯薬連携で活用できるツール

変更・新設となった項目

- SPTのハイリスク患者加算
- 総合医療管理加算
- 周術期等口腔機能管理Ⅳ
- 周術期等口腔機能管理計画策定料
- 回復期口腔機能管理料
- 回復期口腔機能管理計画策定料
- 『在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料』の新設
- 医科『生活習慣病管理料』のⅠとⅡへの分化
- 歯科遠隔連携診療料
- 診療情報等連携共有料
- 診療情報提供料
- 調剤版 服薬情報等提供料



5

訪問診療の効率を上げる 理想的な算定パターン 院内体制&広報活動！



知れること

- 歯科訪問診療料4と5の新設、歯科訪問診療料1の20分ルールの撤廃、施設系サービス口腔機能管理体制における基本サービス化の開始への対応ノウハウ
- 新たな保険ルールに適應するための院内体制
- 最も効率的に訪問診療を行うための算定パターン
- 訪問診療を強化するための施策とツール

変更・新設となった項目

- 在宅医療DX情報活用加算(歯科訪問診療料)
- 歯科訪問診療1~5
- 訪問歯科衛生指導料 ⇒ 複数名衛生指導加算
- 在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料
- 歯科診療特別対応加算1・2
- 在宅歯科医療情報連携加算
- 在宅療養支援歯科診療所の施設基準
- 在宅療養支援歯科病院
 - (1) 歯科疾患在宅療養管理料
 - ① 在宅歯科医療連携加算1・2
 - (2) 在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料も同様の加算
 - (3) 小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料
 - ① 小児在宅歯科医療連携加算1・2



6

CAD・CAM冠の保険適応拡大と FMCの補管の除外を踏まえた 明日からすべき施策



当日学べるポイント

- 銀歯とCAD・CAM冠で比べた利益率の違い
- 売上&利益率アップにつなげる光学スキャナーの効果的な活用方法
- CAD・CAM冠のメリットデメリットの伝え方



変更・新設となった項目

- 歯科技工士連携「印象採得」「咬合採取」「仮床試適」
- FMCの補管の適用除外
- CADの適用範囲拡大
- CAD/CAMのエンドクラウン新設
- レジン前装金属冠の適応拡大ーブリッジ支台歯第2小白歯
- Ni-Tiロータリーファイル加算の見直し
- 光学印象
- 補綴点数の上昇



開催日程

2024年 6月16日(日)・6月19日(水)
6月20日(木)・6月23日(日)

※講座内容はすべて同じです。ご都合のよい日時をおひとつお選びください。

受講料

一般価格 税抜30,000円
(税込33,000円) / 一名様

会員価格 税抜24,000円
(税込26,400円) / 一名様

開催方法

オンライン開催
(各日14:30~17:30)

ログイン開始：開始時刻30分前～

お申込み期日

銀行振込み………開催日6日前まで
クレジットカード………開催日4日前まで

※お支払い方法によって異なりますのでご注意ください。

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、
および社長onlineプレミアムプラン
(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ
ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

お申込みはWEBから

右のQRコードを読み取りいただきますと
お申込みフォームに繋がります

※お申込みに際してのよくある質問は

船井総研FAQ と 検索 しご確認ください。



[E-mail] seminar271@funaisoken.co.jp

船井総研セミナー事務局 [TEL] 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

講座内容

第1講座

2024年の
歯科時流はこれだ！
7つのキーワード

これまでの成功法則が通用しなくなってきた歯科業界に対して、理事長・院長が経営者として取るべき戦略は「LTV」「生産性」にあり。

- 歯科時流戦略キーワード7つ ①業界再編(M&A・事業承継・閉院) ②リピートビジネス・パーソナライズ(個別最適化)
③新診療科目→多角化(または新規事業) ④高生産性×高収益(チェア生産性、ヒト生産性、ジカン生産性)
⑤DX・デジタルマーケティング ⑥データドリブン×リアルタイム経営 ⑦企業化(診療と経営の分離)(ミニ・コングロマリット化)

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 マネージング・ディレクター 谷口 竜都

第2講座

2024年診療報酬改定の動向！

国は動いた！歯科業界だけではなく医科と薬局とで創るべくは「シン地域包括ケアシステム」と言える。歯科の立場でも患者ライフステージに合わせた診療スタンスの網羅性だけではなく深さを求められる「かかりつけ歯科医」としての新たな位置づけに対する近未来予測と本診療報酬改定へ時流適応していくべきポイントを解説！

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 シニアコンサルタント 眞野 泰一

第3講座

最新の具体的対策①
訪問歯科こそ求められる
医科歯科介護の多職種連携！

近年、全身の健康維持や人生100年時代のQOLの維持向上を目的として、歯科分野への注目が増していることは明らかです。介護保険や障がい福祉の保険分野でも、歯科医院との連携項目やそれを評価する内容や加算の新設が見られるのはご存じでしょうか。この流れを押さえ、難易度が高いとされていた介護施設や障がい者施設への新規参入を果たされ、訪問分野を大きく伸ばされている成功事例が多数発生しています。トリプル改定年度の動きは超高齢化時代の今見逃し厳禁、改定の内容を踏まえた実戦レベルの提案提言を行います。

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 リーダー 若木 伸文

第4講座

最新の具体的対策②
子どもを救え！
正しい口腔発達支援が未来を変える

小児歯科分野では、10歳以下のDMFは1.0を切った反面、口呼吸などの悪習癖を持つ子どもは全体の70%と増え続けています。2018年に保険に登場した口腔機能発達不全症は「管理」から「改善」へ進み、管理料を算定できて当たり前の時代から、「管理・改善」ができて当たり前の時代へと変化しています。時代に対応した明日から使える算定・管理・改善方法を余すことなくお伝えします。日本の未来は、子どもの成長を支える新時代の歯科医療に託されています。子どもの未来を変える医療をココから始めましょう。

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 リーダー 山本 喜久

第5講座

最新の具体的対策③
歯科から全身を診る
医科歯科・医歯薬連携！

歯科医院は定期的に通える医療機関であり、メタボリックドミノの上流に位置するのが歯科領域である。全身の疾患を防ぐ鍵は、歯科医院から未病を防ぐスキームにあり。糖尿病や骨粗鬆症をはじめ、医科からの注目が増す昨今、口腔領域を超えて全身を守る歯科医療とは。

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 マネージャー 伊藤 崇

第6講座

歯科診療報酬改定の波に乗る
具体的な実践方法

2024年歯科診療報酬改定の荒波に乗るための、具体的な診療の流れと算定フローはこれだ！どこよりも早い、改定直前の理想的な歯科医院経営！実践した医院だけが辿り受ける領域がある、それが診療報酬改定の先取りである！

株式会社船井総合研究所 歯科・動物病院支援部 チーフコンサルタント 坂下 大樹



2024年の診療報酬改定に向けて

いま取り組むべき歯科医院の課題は

これだ!

か強診に代わる
口管強の施設基準
への適応

予防歯科から
**口腔機能
管理型歯科**
へのチェンジ

地域包括ケアを
実現する
医歯薬連携
の実践

スタッフの
給与を昇給
し続けられる
経営基盤構築

Ce加算
(エナメル質初期う蝕管理加算)
廃止への適応

大幅な診療報酬改定
から弾みをつけて

歯科診療所の
平均年間医業収入

7,000万円

歯科衛生士
有効求人倍率

22.6倍

の超競争
時代に**適応**せよ!!

診療報酬改定を見据えて

地域の患者様から選ばれ続ける
歯科医院になるためにやるべき

6の取り組み

お申し込みは
コチラ

1 2024年診療報酬改定で
新設・変更された
施設基準の取得



2 小児&高齢者
口腔機能管理および
口腔リハビリテーション料3の
算定&指導ノウハウ



3 新予防歯科! Ceの廃止と
口腔機能管理を踏まえた
メンテナンス管理体制の
具体的事例と算定パターン



4 医歯薬連携のファーストステップ
糖尿病患者様と
金属アレルギー患者様への
アプローチ方法



5 訪問診療の理想的な
算定パターンと
院内&広報体制の構築



6 FMCの補管からの除外、
光学スキャナーの保険適応を
踏まえた補綴戦略と
患者様への提案ノウハウ

